

令和 2 年度（2020 年度）

豊中市文化芸術推進プラン改訂版に基づく
施策実施状況

令和 3 年（2021 年）11 月

豊 中 市

目次

ページ

I. 豊中市文化芸術推進プラン改訂版に基づく施策実施状況について	1
II. 推進プラン改訂版について —その経緯と展開—	1
III. 推進プログラムに基づく取組みの進捗状況	4
1. 文化芸術活動を担う人材の育成	6
2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進	11
3. 音楽あふれるまちづくりの推進	18
4. 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進	23
5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実	28
事業内容（索引）	34

I. 豊中市文化芸術推進プラン改訂版に基づく施策実施状況について

この施策実施状況は、本市の文化芸術施策の具体的なあり方を示した「豊中市文化芸術推進プラン改訂版」（以下、「推進プラン改訂版」という。）に基づき、平成30年度から令和2年度までに実施した事業の状況把握、進捗管理や評価を行うとともに、今後の事業に反映する・生かすことを目的とした報告書です。

推進プラン改訂版の背景や経緯を踏まえた事業ごとの指標に基づく評価とともに、豊中市文化芸術振興審議会（以下「審議会」という。）からの意見も掲載します。

II. 推進プラン改訂版について —その経緯と展開—

1. 策定の経緯

- 平成18年4月に「人と文化を育む創造性あふれるまち」の実現を目的として豊中市文化芸術振興条例（以下、「文化芸術振興条例」という。）を施行しました。
- 平成20年6月に文化芸術振興条例に基づき、本市における文化芸術振興の方向性を示すため、計画期間を令和2年度までとする「豊中市文化芸術基本方針」（以下、「基本方針」という。）を策定しました。
- 平成24年3月には基本方針に基づく取組みを具体的に推進するため、計画期間を令和2年度までとする「豊中市文化芸術推進プラン」（以下、「推進プラン」という。）を策定しました。
- 平成29年6月に「文化芸術基本法」が施行され、文化芸術の価値の周辺領域への連関等の新たな観点（注1）が示されたこと、また、平成30年度から新たに「第4次豊中市総合計画」がスタートしたことから、推進プランの見直しに着手し平成30年3月に推進プラン改訂版を策定しました。
- 令和2年度をもって基本方針とこれを具現化する推進プラン改訂版の計画期間が終了したことから、一層の文化芸術施策の推進をはかるため、計画期間を令和9年度までとする「豊中市文化芸術推進基本計画」を策定しました。

（注1）【文化芸術基本法 第2条 10】文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが重要であることに鑑み、文化芸術の固有の意義を尊重しつつ、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならない。

2. 推進プログラム

- (1) 文化芸術活動を担う人材の育成
- (2) 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進
- (3) 音楽あふれるまちづくりの推進
- (4) 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進
- (5) 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実

3. 取組みの展開

(1) 推進体制

本プランの進捗に際しては、大学、小・中・高等学校等の教育機関や、市民団体などとの協働・連携に努め、庁内組織の横断的な構成による文化行政推進会議等での検討や、審議会における意見などをふまえて、より効果的な展開をめざします。

(2) 評価と進行管理

推進プログラムごとに細分化した取組み項目の具体的な事業に照応する指標を設定して評価を行い、実績の整理と併せて課題を把握します。

4. 進捗管理の振り返りについて

平成30年3月に策定した文化芸術推進プラン改訂版について、計画期間の平成30年度から令和2年度までの3年間にわたり、事業の進捗管理を実施しました。

上記の5つの推進プログラムごとに指標を設定し、目標値を掲げ、文化芸術振興審議会からの意見を踏まえ、進捗管理を行ってきましたが、今回、最終年度となる令和2年度までの数値を取りまとめ、目標値に対する進捗状況等も明らかになったことから、3年間の実施状況の振り返りを行います。

振り返りを行う前に、令和2年はじめに発生した新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、我が国では令和2年4月に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されるなど生活様式が一変し、文化芸術やスポーツなど多くのイベントが中止へと追い込まれました。今回の進捗管理においても、令和2年度の多くの事業が中止や規模の縮小などを余儀なくされ、指標の目標値から大きく下回る結果となってしまいました。

今後はコロナ禍において、どのように文化芸術を推進していくのが課題となりますが、文化芸術の創造・発表の場を確保し、多くの人々が文化芸術に触れる機会の確保に努めていきます。

「1. 文化芸術活動を担う人材の育成」については、令和元年度実績値で見ると、多くの指標で目標値を達成しました。市民ホール等指定管理者が実施しているレジデントアーティスト事業も軌道にのり、多くの子どもたちが文化芸術に触れる機会を創出することができました。今後も引き続き、子どもたちの人材の育成につながる事業を展開していきます。

「2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進」については、令和元年度からスタートした助成金制度が主要な事業となっており、指標の目標もクリアしました。一方で大学等との連携事業数、事業者からの寄附件数は目標を大きく下回っており、今後、指標の内容を含めて検討が必要です。

「3. 音楽あふれるまちづくりの推進」については、令和2年度はイベントの多くが中止となったが、令和元年度実績で見ると、参加者、来場者の指標は80%の達成状況となり、今後も来場を募る工夫が必要です。一方、満足度はとても高く、事業の中身については多くの来場者が満足していることが分かりました。令和4年度には音楽月間事業10周年となることから、今後も「音楽あふれるまち」をさらに推進していきます。

「4. 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進」については、令和2年度までに事業数を増やすことは叶わなかったが、令和3年度より新たに子ども園や障害者支援施設との連携事業をスタートさせる予定としており、今後もさまざまな分野と協力しながら、文化芸術の本質的価値、経済的価値を活かした取組みを実施していきたいと考えています。

「5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実」については、コロナ禍ということもあり、市の所蔵作品を活用した事業が予定通り行うことはできませんでした。今後、さらに大学や専門的な人材との連携を図りながら、地域資源の活用を図っていく予定です。また、文化芸術活動に係る環境の充実については、市民ホール設備満足度は高く、市民の文化芸術の発表・発信の場となる施設の改修も計画的に進めていきたいと考えています。

Ⅲ. 推進プログラムに基づく取組みの進捗状況

推進プログラムの内訳と、対応する指標、当該対象事業の構成は、下表のとおり。

推進プログラム		指標	対象事業
1. 文化芸術活動を担う人材の育成 ...6 ページ	(1) 文化芸術を支える人材の充実	【指標1.】 市民ホール指定管理者へのボランティア登録者数	サポートクルー養成講座
		【指標2.】 レジデントアーティストによるアウトリーチ及び各事業の出演回数	とよなかアーツワゴンの活動
	(2) 次代を担う子どもたちを育む	【指標1.】 該当事業の参加者及び来場者数	音楽コンクール(応募者)、こども音楽フェスティバル、こどもクラシックの日
		【指標2.】 該当事業の延べ参加校・園数	ホールでオーケストラ、小学校アウトリーチ事業、サウンドスクール(小・中学校)、サウンドスクール(こども園)、教育美術展、高校生軽音楽フェスティバル
		【指標3.】 該当事業の満足度	音楽コンクール(来場者)、こども音楽フェスティバル、こどもクラシックの日、ホールでオーケストラ、小学校アウトリーチ事業、高校生軽音楽フェスティバル(来場者)
2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進 ...11 ページ	(1) 文化芸術活動への支援	【指標1.】 文化芸術活動報奨金の支給団体・個人の件数	文化芸術活動報奨金制度
		【指標2.】 文化芸術振興助成金の予算に対する交付決定割合	文化芸術振興助成金制度
	(2) 大学等との連携の推進	【指標1.】 大学や市民団体等との連携の事業数	市文化芸術祭、市美術展、豊中まちなかクラシック、大阪大学総合学術博物館企画展、伝統芸能館まつり、世界の楽器と音楽、世界のしよない音楽ワークショップ・音楽祭、音楽コンクール、こども音楽フェスティバル(再掲)、サウンドスクール(小・中学校)、サウンドスクール(こども園)、こどもクラシックの日(再掲)
		【指標2.】 該当事業の満足度	市文化芸術祭、市美術展、豊中まちなかクラシック、世界の楽器と音楽、世界のしよない音楽ワークショップ・音楽祭、音楽コンクール(来場者)(再掲)、こども音楽フェスティバル(再掲)、こどもクラシックの日(再掲)
	(3) 企業等との連携の推進	【指標1.】 事業者からの寄附件数	文化芸術振興基金
	(4) 都市間の連携の推進	【指標1.】 連携事業を行っている自治体数	就航都市文化交流事業、豊中まつり
		【指標2.】 該当事業の満足度	セイジ・オザワ松本フェスティバルスクリーンコンサート、豊中まつり

推進プログラム		指標	対象事業
3. 音楽あふれるまちづくりの推進 ...18 ページ	(1) 音楽事業の一層の推進	【指標1.】 参加者及び来場者数	音楽コンクール(応募者)(再掲)、こども音楽フェスティバル(再掲)、豊中まちなかクラシック(再掲)、ホールでオーケストラ(再掲)、市文化芸術祭(再掲)、世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭(再掲)、セイジ・オザワ松本フェスティバル・スクリーンコンサート、邦楽鑑賞会、高校生軽音楽フェスティバル(参加者及び来場者)(再掲)、サウンドスクール(小・中学校/再掲)、サウンドスクール(こども園/再掲)、豊中市民第九演奏会
		【指標2.】 該当事業の満足度	音楽コンクール(来場者)(再掲)、こども音楽フェスティバル(再掲)、豊中まちなかクラシック(再掲)、ホールでオーケストラ、(再掲)、市文化芸術祭(再掲)、世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭(再掲)、セイジ・オザワ松本フェスティバル・スクリーンコンサート(再掲)、邦楽鑑賞会、高校生軽音楽フェスティバル(来場者)(再掲)、豊中市民第九演奏会
4. 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進 ...23 ページ	(1) 他分野と連携したさまざまな課題への取組みの推進	【指標1.】 教育や福祉等の分野と連携した社会的包摂や地域活性化等の事業数	きむらとしろうじんじん野点(のだて)、ホールでオーケストラ(再掲)、世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭(再掲)、文化芸術振興助成金(再掲)、小学校アウトリーチ事業(再掲)
		【指標2.】 該当事業の満足度	ホールでオーケストラ(再掲)、世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭(再掲)、小学校アウトリーチ事業(再掲)
	(2) 音楽以外の基軸の確立	【指標1.】 音楽以外の文化芸術分野における事業数	市所蔵作品展、市民ギャラリー特別企画展、市文化芸術祭(再掲)、市美術展(再掲)、大阪大学総合学術博物館企画展(再掲)、伝統芸能館まつり(再掲)、きむらとしろうじんじん野点(再掲)、教育美術展(再掲)
		【指標2.】 該当事業の満足度	市所蔵作品展、市民ギャラリー特別企画展、市文化芸術祭(再掲)、市美術展(再掲)
5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実 ...28 ページ	(1) 美術・博物・文化財等の分野における地域資源の活用・発信の充実	【指標1.】 市所蔵美術品を活用した事業の来場者数	市所蔵作品展(再掲)
		【指標2.】 文化財の保護、活用及び啓発	博物資料・文化財などを活用した事業、子ども文化財教室等の講座・学習事業
	(2) 地域の課題に応じた取組みの推進	【指標1.】 地域の課題に応じた文化芸術分野の事業件数	世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭(再掲)、ホールでオーケストラ(再掲)
		【指標2.】 該当事業の満足度	世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭(再掲)、ホールでオーケストラ(再掲)
	(3) 文化芸術活動に係る環境の充実	【指標1.】 市民ホールの設備満足度	市民ホール指定管理者施設利用アンケート

※対象事業の内容については 34 ページ～37 ページ参照

1. 文化芸術活動を担う人材の育成

(1) 文化芸術を支える人材の充実

文化芸術のさらなる振興に向け、文化芸術活動を担う人材の充実を図ります。

指標 1. 市民ホール指定管理者へのボランティア（サポートクルー）登録者数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
79.2%	24 人	19 人	24 人	26 人

指標 1 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
1.サポートクルー養成講座	24 人	19 人	24 人	26 人

指標 2. レジデントアーティストによるアウトリーチ及び各事業の出演回数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
41.7%	12 回	5 回	13 回	—

※レジデントアーティストのアウトリーチ及び各事業の出演は、令和元年度から開始。

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
2.とよなかアーツワゴンの活動	12 回	5 回	13 回	—
	レジデントアーティストによる アウトリーチ及び各事業の出演回数			

【備考】

- サポートクルー養成講座は隔年開講で、平成 28 年度と 30 年度に実施し、令和 2 年度に開催を予定していましたが、1 回のみ開催し以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となりました。令和 3 年度に実施予定です。
- とよなかアーツワゴンは令和 2 年度の新期生オーディションは行わず、1 期生 3

組、2期生2組の計5組のレジデント・アーティストはそれぞれアートマネジメントやアウトリーチの技法の研鑽を積みました。新型コロナウイルス感染拡大によりアウトリーチやコンサートの機会も減ってしまいましたが、令和元年度に中止となったコンサートの延期公演は無事に成功し、動画コンテンツの作成などを行うことで次年度の活動に繋がる1年となりました。令和3年度は3期生のオーディションを予定しています。

【文化芸術振興審議会の意見】

- サポートクルー養成講座によるボランティア登録者数は19人と前年度より少し減ってしまいましたが、今後もさまざまに異なる意志をもって従事する各ボランティアの意向を尊重するとともに、公演本番やゲネプロへの立ち合いを通じた経験等において成長とやりがいを実感できるような養成に配慮していただきたい。
- とよなかアーツワゴンの活動は、音楽を志す人にも有意義な事業だと思います。アーティストバンク登録後には、研修に携わった講師や、アーティストの情報が公開されると、次期応募者の参考になり、また、当該アーティストへの出演依頼もしやすくなると思います。
- とよなかアーツワゴンの研修後の地域での活動のアイデアや方策については、引き続き検討していただきたい。また、音楽以外のアーティストについても積極的に登用してほしいと思います。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、レジデントアーティストたちの活動は減ってしまったが、アウトリーチだけでなく、イベントへの出演など活躍の場を提供している点は評価できます。
- レジデントアーティストの活動について、今後は美術分野での展開にも期待したい。

1. 文化芸術活動を担う人材の育成

(2) 次代を担う子どもたちを育む

文化芸術を通して、子どもたちの豊かな感性、創造性を育みます。

指標 1. 該当事業の参加者及び来場者数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
61.9%	2,310 人	1,429 人	907 人	1,654 人

指標 1 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
3.音楽コンクール (応募者)	210 人	中止	217 人	209 人
4.こども音楽フェスティバル	600 人	中止	609 人	中止
5.こどもクラシックの日	1,500 人	1,429 人	81 人	1,445 人

指標 2. 該当事業の延べ参加校・園数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
38.7%	62 校・園	24 校・園	59 校・園	56 校・園

※下表「サウンドスクール (小・中学校)」は除く

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
6.豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールでオーケストラ♪	14 校	4 校	14 校	12 校
7.小学校アウトリーチ事業	新規参加 累計 10 校	新規参加 累計 7 校	新規参加 累計 7 校	新規参加 累計 6 校
8.サウンドスクール (小・中学校)	増加	11 校	44 校	43 校
8.サウンドスクール (こども園)	13 園	13 園	13 園	13 園
9.教育美術展	18 校	中止	18 校	18 校
10.高校生軽音楽フェスティバル	7 校	中止	7 校	7 校

指標 3. 該当事業の満足度（上記事業のうちアンケートをとれる事業のみ）

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)
96.2%	95.0%	91.4%	93.4%

指標 3 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値
3.音楽コンクール（来場者）	95.0%	中止	98.6%
4.こども音楽フェスティバル	95.0%	中止	98.6%
5.こどもクラシックの日	95.0%	89.7%	—
6.豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールでオーケストラ♪	95.0%	93.0%	91.5%
7.小学校アウトリーチ事業	95.0%	91.5%	84.0%
10.高校生軽音楽フェスティバル（来場者）	95.0%	中止	96.5%

【備考】

- 音楽コンクール、こども音楽フェスティバル、高校生軽音楽フェスティバル、教育美術展は新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。
- こどもクラシックの日は令和元年度は一部の開催となりましたが、令和2年度は対策を講じながら実施することができました。
- ホールでオーケストラについては、4校が参加。「楽器を演奏してみたい」と答えた生徒が30%、「オーケストラをもっと聴いてみたい」が43%と、多くの生徒が音楽に興味をもってくれました。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、レジデントアーティストによる小学校アウトリーチ事業は、1校のみとなりました。

【文化芸術振興審議会の意見】

- 音楽コンクールは中止となったが、参加料が低額なので、多数の応募を得ることで豊中の文化の一つになるとよいと思います。
(音楽コンクール参加料：高校の部：3,000円、大学・一般の部：5,000円)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの事業が中止や規模縮小となったが、今後もオンラインなど新しい媒体を活用しながら取組みを進めてほしいと思います。
- ホールでオーケストラは子どもたちの感性を育むよい取組みですので、今後も教育委員会と連携を図りながら、参加校を増やしてほしい。
- サウンドスクールは10年以上も続く事業で、大阪音楽大学の学生等が演奏や子

どもたちの指導を行なうという豊中ならではの事業で、子どもたちはもとより、音大生のためにもなるものと思います。

- 小学生から高校生を対象とする大型イベントや、音大生の活躍の場もあることはすばらしい。
- 次代を担う子どもたちを育む事業は、着実に実行されていると思われます。今後も継続をお願いします。
- 今後、with コロナがいつまで続くかは分かりませんが、感染拡大に留意されつつ、動画配信など新しい媒体も活用しながら、文化芸術に触れる機会を確保していただきたいと願います。
- 小学校のアウトリーチ事業とサウンドスクールについて、内容が重なる部分もあるため、連携が図れないか検討いただきたい。

【参考事業】

事業名	単位	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
11. サマーブラスフェスティバル	参加校数	18 校	18 校	18 校
12. 小学校連合音楽会・中学校音楽研究演奏会	参加校数	24 校	13 校	24 校

2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進

(1) 文化芸術活動への支援

市民団体等による文化芸術活動への支援の充実を図ります。

指標 1. 文化芸術活動報奨金の支給団体・個人の件数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
20%	20 件	4 件	12 件	7 件

指標 1 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
13.文化芸術活動報奨金制度	20 件	4 件	12 件	7 件

指標 2. 文化芸術振興助成金の予算に対する交付決定割合

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—

※令和元年度より制度がスタート

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
14.文化芸術振興助成金制度	100.0%	100.0%	100.0%	—

【備考】

- 文化芸術振興助成金は予算額 400 万円。募集を開始した令和 2 年 3 月末時点では既に新型コロナウイルスの感染拡大が始まっていたことから、募集が少なくなりました。令和元年度は 27 件の申し込みがありましたが、令和 2 年度は 11 件の申し込み、うち 9 団体に交付決定を行いました。
- 令和 2 年度交付団体の実施事業の報告会をオンラインで開催しました。
- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、上記助成金に加え予算額 400 万円の文

化芸術活動支援助成金を時限的に創設し、活動が思うようにできていないアーティストの支援を行いました。78件の申し込みがあり、29団体に400万円全額交付決定しています。

【文化芸術振興審議会の意見】

- 報奨金の件数が少ないことは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全国的に大会等が少なくなったことが影響したと思われませんが、制度をより多くの人に知ってもらう取り組みは必要ではないでしょうか。
- 文化芸術活動への報奨金は悪くないと思いますが、活動に直接関係する顕彰の仕方もあるのではないかと思います。
- 文化芸術振興助成金の支給対象として採択された事業は意義深いものなので、行政としてもPRに努め、市民からも評価されることが大切であると感じます。
- 文化芸術振興助成金制度については、助成金を支給するだけでなく、モニタリングなどで事業成果を確認するとともに、団体等同士のつながりがもてるような取り組みが必要です。

【参考事業】

事業名	単位	R2年度 実績値	R1年度 実績値	H30年度 実績値
15.文化芸術振興基金	個人からの寄附件数	87件	35件	16件

2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進

(2) 大学等との連携の推進

引き続き、市内の大学、オーケストラ等と連携を図り、さまざまな分野における文化芸術事業を展開します。

指標 1. 大学や市民団体等との連携の事業数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
60%	15 事業	9 事業	13 事業	13 事業

指標 1 の事業名称

事業名
16.市文化芸術祭 (中止)
17.市美術展
18.豊中まちなかクラシック
19.大阪大学総合学術博物館企画展
20.伝統芸能館まつり (中止)
21.世界の楽器と音楽
22.世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭
3.音楽コンクール (中止)
4.こども音楽フェスティバル (中止)
8.サウンドスクール (小・中学校)
8.サウンドスクール (こども園)
5.こどもクラシックの日

指標 2. 該当事業の満足度 (上記事業のうちアンケートをとれる事業のみ)

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)
93.2%	95.0%	88.5%	93.7%

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値
16.市文化芸術祭	95.0%	中止	91.7%
17.市美術展	95.0%	78.3%	76.8%
18.豊中まちなかクラシック	95.0%	—	98.5%
21.世界の楽器と音楽	95.0%	86.3%	100.0%
22.世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭	95.0%	100%	—
3.音楽コンクール（来場者）（再掲）	95.0%	中止	98.6%
4.こども音楽フェスティバル（再掲）	95.0%	中止	96.6%
5.こどもクラシックの日（再掲）	95.0%	89.7%	—

【備考】

- 市文化芸術祭、音楽コンクール、こども音楽フェスティバルは、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。
- 豊中まちなかクラシックは、オンラインでの配信のみとなったため、アンケートは実施しておりません。

【文化芸術振興審議会の意見】

- 新型コロナウイルスの感染拡大により多くの事業が中止となるなか、定員制限等の感染対策を徹底しながら可能な限り事業を実施されたと思います。
- 大学等との多彩な連携事業の継続を通じて、多くの市民が芸術に触れることはすばらしい。
- 豊中まちなかクラシックは、中止ではなくオンラインで配信したとのことで、今後も工夫を凝らし、市民が文化芸術に触れる機会を提供してほしい。

2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進

(3) 企業等との連携の推進

文化芸術の振興に向け、企業、事業者等との多様な連携を図ります。

指標 1. 事業者からの寄附件数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
0.0%	10 件	0 件	0 件	4 件

指標 1 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
15.文化芸術振興基金	10 件	0 件	0 件	4 件
事業者からの寄附件数				

※市民からの寄附件数は、12 ページ参照。

【備考】

- 事業者から文化芸術振興基金への寄附はありませんでしたが、豊中まつりでは 68 の企業、事業者と連携しました。
- 令和 2 年度実施の子ども向けのアートイベント「ART ROOMS TOYONAKA」では工作教室を行うため、アーティストと地元企業を回り、不要になった木材やダンボールなどを集めました。

【文化芸術振興審議会の意見】

- 平成 29 年 9 月の答申において、基金の文化芸術の振興にかかる活用のために言及した報奨金制度や中学生の体験コンサートなどに着実に取り組まれています。今後も人材育成事業等に活用するとともに、基金原資を安定的に継続して獲得し、より有効に活用いただきたいと思います。
- まだ伸びしろはあると思われれます。寄附文化への一般的な理解の醸成も同時に必要かと思えます。
- 事業者からの金銭の寄附を受けることは、大変だと思えますが、達成率が 0%というのは、指標の見直しが必要だと感じます。上記の備考にあるよう、イベント等で使用する現物を提供してもらうため、地元企業を訪問することで今後の関係性をつくることは大切です。

2. 多様な主体との連携による文化芸術活動の推進

(4) 都市間の連携の推進

文化芸術の創造性を以て地域課題の解決に取り組む自治体として文化庁が位置付ける「文化芸術創造都市」をはじめ、大阪国際空港就航都市や他の自治体との連携の充実を図り、さまざまな取組みの展開につなげます。

指標 1. 連携事業を行っている自治体数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
11.1%	9 都市	1 都市	8 都市	8 都市

指標 1 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
23.就航都市文化交流事業	3 都市	0 都市	2 都市	2 都市
24.豊中まつり	6 都市	1 都市	6 都市	6 都市

指標 2. 該当事業の満足度（上記事業のうちアンケートをとれる事業のみ）

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)
—	95.0%	—	92.6%

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値
(23.就航都市文化交流事業)			
27.セイジ・オザワ松本フェスティバル・スクリーンコンサート	95.0%	中止	98.8%
24.豊中まつり	95.0%	—	86.4%

【備考】

- 就航都市文化交流事業では、長野県松本市と開催予定だったセイジ・オザワ松本フェスティバル・スクリーンコンサートが中止となりました。
- 豊中まつりは、兄弟都市の沖縄市と連携をとりながら、オンラインでの開催となりました。そのため、アンケートを実施しておりません。令和 2 年度はその沖縄市 1 都市のみです。

【文化芸術振興審議会の意見】

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により自治体交流にも大きく影響が出ました。今後も引き続き、協力できる事業展開について模索していただきたいと思います。
- 今後、文化芸術創造都市との事業連携にも期待するところです。
- 今年度はコロナということもあり、事業の実施が難しかったと思うが、都市間連携はもう少し目標値を上げてよいのではないのでしょうか。1 都市の取組みがその都市だけで完結するのは経済的にもよくないし、異なる文化を持つ他都市との交流をより推進することが望ましい。今後の進捗管理の参考としていただきたい。

【参考事業】

事業名	単位	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
25.兄弟都市・沖縄市交流	訪問回数	0 回	2 回	2 回
26.姉妹都市・サンマテオ市交流	交流事業件数	5 件	3 件	3 件

3. 音楽あふれるまちづくりの推進

(1) 音楽事業の一層の推進

音楽事業の多彩な展開等、音楽あふれるまちづくりをさらに進めます。

指標 1. 参加者及び来場者数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
7.2%	8,730 人	629 人	6,995 人	5,981 人

※下表中サウンドスクールは除く

指標 1 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年 度 実績値
3.音楽コンクール (応募者)	210 人	中止	217 人	209 人
4.こども音楽フェスティバル	600 人	中止	609 人	—
18.豊中まちなかクラシック	900 人	0 人	1,009 人	859 人
6.豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールでオーケストラ♪	1,900 人	522 人	1,861 人	1,656 人
16.市文化芸術祭	1,200 人	中止	1,651 人	1,005 人
22.世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭	700 人	延べ 107 人	123 人	637 人
27.セイジ・オザワ松本フェスティバル スクリーンコンサート	400 人	中止	176 人	341 人
28.邦楽鑑賞会	120 人	中止	66 人	100 人
10.高校生軽音楽フェスティバル (参加者及び来場者)	1,200 人	中止	629 人	959 人
8.サウンドスクール (小・中学校)	—	—	—	—
8.サウンドスクール (こども園)	—	—	—	—
29.豊中市民第九演奏会	1,200 人	中止	705 人	—

指標 2. 該当事業の満足度 (上記事業のうちアンケートをとれる事業のみ)

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)
101.6%	95.0%	96.5%	96.0%

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値
3.音楽コンクール（来場者）（再掲）	95.0%	中止	98.6%
4.こども音楽フェスティバル（再掲）	95.0%	中止	96.6%
18.豊中まちなかクラシック（再掲）	95.0%	—	98.5%
6.豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールでオーケストラ♪（再掲）	95.0%	93.0%	91.5%
16.市文化芸術祭（再掲）	95.0%	中止	91.7%
22.世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭（再掲）	95.0%	100%	—
27.セイジ・オザワ松本フェスティバル・スクリーンコン サート（再掲）	95.0%	中止	98.6%
28.邦楽鑑賞会	95.0%	中止	94.5%
10.高校生軽音楽フェスティバル（来場者）（再掲）	95.0%	中止	96.5%
29.豊中市民第九演奏会	95.0%	中止	98.3%

【備考】

- 新型コロナウイルスの感染拡大により多くの音楽事業が中止となったほか、ホールでオーケストラ♪の参加校数も大幅に減少しました。
- 豊中まちなかクラシックは、無観客のオンライン配信となり、12,570回再生されました。

【文化芸術振興審議会の意見】

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの事業が中止になり、来場者数も大幅に減少してしまいましたが、無観客での配信を行うなど、工夫して事業を実施されたと思います。
- 実施できた事業は少なかったですが、高い満足度を維持することはできていたことが伺えます。
- 指標達成率向上のためのPR方法が課題となる一方で、上演に最適な会場として特定のホール等が開催場所として決められている事業では、そのホール等の収容人数の制限のために来場者数を増やせないという実態にもさらなる検討が必要かと思います。
- 音楽あふれるまち豊中を標榜しているわけなので、固定的な会場にのみ限定的に考えるのではなく、音楽についての文化事業などを一層企画することと、もっと市民レベルで日常的な音楽活動を支援する仕組みがあってもよいのではないのでしょうか。

【参考事業】

■音楽月間事業一覧

事業名	来場者数	実施主体
中村中の歌と語りの会 <もう見た目を気にしない！>	181人	人権政策課
サウンドステーション in 豊南市場 コンサート	25人	魅力創造課
ピアニストと仲間たち	200人	
ギタスナフェス 2020	1,266人 配信 744人	
第2回島熊山薪能	91人	文化芸術課
music connects people <音楽は人をつなぐ> 白井大輔 配信 LIVE	—	
WEB 豊中まつり 2020	配信 40,789人	
豊中親子雅楽教室	延べ 94人	
世界のしょうない音楽ワークショップ	延べ 35人	
『クレモナ』モダンタンゴ・ラボラトリ 第9回定期公演「THE LIVE IS NOT DEAD」	198人	
第31回大阪音楽大学連携講座「三味線が奏でる日本の“情”」	52人	
豊中まちなかクラシック 2020（配信）公演 1 大講堂に満ちるトロンボーンの調べ	配信 2,037人	
豊中まちなかクラシック 2020（配信）公演 2 悲嘆と倦怠—混乱する時の中、調和に満ちた静寂を求めた鳥たちは目覚める	配信 4,842人	
豊中まちなかクラシック 2020（配信）公演 3 至高の弦楽四重奏でどっぷり浸かるハイドンとベートーヴェン	配信 604人	
豊中まちなかクラシック 2020（配信）公演 4 ベートーヴェン、変幻自在！	配信 788人	
豊中まちなかクラシック 2020（配信）公演 5 カプースチン トリビュート『ガチャコン』	配信 1,056人	
豊中まちなかクラシック 2020（配信）公演 6 似て非なる存在 ～対話か対峙か、それとも？	配信 605人	
豊中まちなかクラシック 2020（配信）公演 7 川、湖…そして海へ	配信 2,638人	
小川恵子ピアノコンサート 映画音楽とともに	中止	
アンサンブル・サビーナコンサート in 千里コラボ	83人	千里地域連携センター

<p>大阪音楽大学開放講座「音楽・心の旅 34」</p> <p>①『ハープ S・M・L』～3つのハープの聴き比べ～</p> <p>②『親子で楽しむ音楽会』～音楽をライブで楽しもう！ 生演奏で遊んでみよう！</p>	<p>①41人</p> <p>②10組 29人</p>	中央公民館
豊中市青少年吹奏楽団 第52回定期演奏会	300人	
(庄内図書館) 音楽を楽しむ絵本の展示	—	読書振興課
(庄内図書館) 音楽に関する資料・本の展示	—	
(野畑図書館) 音楽に関する資料・本の展示	—	
(螢池図書館) 「音楽と小説」資料展示と貸出	—	
(岡町図書館) 音楽に関する資料展示	—	
(千里図書館) 音楽を楽しもう (児童図書の展示)	—	
(千里図書館) 音楽と仕事 (図書の展示)	—	
総計	2,595人 配信 54,103人	

■市民ホール指定管理者 音楽鑑賞事業一覧

事業名	来場者数
スサンナ・アレクサンドラ with ヨーナス・ハーヴィスト	中止
ベネッセの英語コンサート 2020 夏	中止
ITF 国際トロンボーンフェスティバル 2020	中止
にほんのうた Vol.7	中止
セイジオザワ松本フェスティバル スクリーンコンサート	中止
西山茉莉奈ヴァイオリンリサイタル	中止
名倉誠人マリンバコンサート	73 人
日高剛ホルンリサイタル	73 人
センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.15	523 人
声の TRANCE つむぎね モリニハイル	62 人
サラ・オレイン	中止
オペラ「夕鶴」(演奏会形式)	中止
DRUM TAO「祭響」	732 人
FM COCOLO JAZZ WAREHOUSE	配信のみ
第 3 回 豊中市民第九演奏会	中止
だがっきスイッチ クリスマスコンサート in 豊中	80 人
センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.14	228 人
にほんのうた Vol.8	95 人
ヤノシュ・オレイニチャク ピアノリサイタル 2020	228 人
TRANCE MUSIC FESTIVAL 2021 ピアノとパーカッションの TRANCE	中止
センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.16	499 人
センチュリー室内楽シリーズ Vol.7 ヴィオラアンサンブル	84 人
アーティスト with センチュリー	中止
ドラゴンクエストスペシャルコンサート 交響曲「ドラゴンクエストⅧ」	554 人
TRANCE MUSIC FESTIVAL 2021 時間の TRANCE -NINETY MINUTES-	65 人
日本センチュリー交響楽団 Presents 交響曲 瀬祭	554 人
TRANCE MUSIC FESTIVAL 2021 ①レガシーの TRANCE -KONTAKTE- ②クラブミュージックの TRANCE	173 人
ドラゴンクエストスペシャルコンサート 交響曲「ドラゴンクエストⅪ」	中止
にほんのうた Vol.6	166 人
巖崎友美ヴァイオリンリサイタル 2	63 人
センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.17	453 人
総計	4,086 人

4. 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

(1) 他分野と連携したさまざまな課題への取組みの推進

文化芸術のもつ力を活かし、教育や福祉等の他分野との連携を図りながら、社会包摂、地域活性化等のさまざまな課題への取組みを進めます。

指標 1. 教育や福祉等の分野と連携した社会的包摂や地域活性化等の事業数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
71.4%	7 事業	6 事業	5 事業	4 事業

指標 1 の事業名称

事業名
30.きむらとしろうじんじん野点 (のだて)
6.豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールでオーケストラ♪
22.世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭
14.文化芸術振興助成金制度
7.小学校アウトリーチ事業
40.ART ROOMS TOYONAKA

指標 2. 該当事業の満足度 (上記事業のうちアンケートをとれる事業のみ)

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)
99.8%	95.0%	94.8%	87.7%

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値
6.豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールでオーケストラ♪ (再掲)	95.0%	93.0%	91.5%
22.世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭 (再掲)	95.0%	100%	—
7.小学校アウトリーチ事業 (再掲)	95.0%	91.5%	84.0%

【備考】

- 令和元年度からスタートした文化芸術振興助成金は、市内で行われる「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実を図る事業」、「文化芸術の力を活かした地域課題の解決をめざす事業」を支援するものです。
- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、上記助成金に加え予算額 400 万円の文化芸術活動支援助成金を臨時設置し、活動が思うようにできていないアーティストの支援を行いました。78 件の申し込みがあり、29 団体に 400 万円全額交付決定しています。
- 令和 3 年度には「ART ROOMS TOYONAKA」を開催いたしました。豊中市初となるアートの祭典で、子どもを主な対象とし庄内地区を中心に実施しました。3 年ごとの開催を予定しています。

【文化芸術振興審議会の意見】

- 社会的包摂は進めるべきと思いますが、他分野との連携は今後一層検討するべきだと思います。SDGs（持続可能な開発目標）などへの対応も求められている中で、文化・芸術にできることはもっと多様にあるはずです。大学などとの連携を通じて今後も検討していただければと思います。
- 市民の文化芸術に対する意識を高めるためにも、文化芸術が地域課題の解決に寄与すること、また、その成果がより市民に伝わるとよいと思います。
- 文化芸術の力を活かした社会的包摂や地域課題の解決を図る事業の価値を測る指標の設定は困難ですが、アンケート等での定性的な評価も併せて行っていただき、ニーズの把握につとめていただけたら。
- 定性的な評価については、本節に限らず、推進プログラム全体の課題として、来場者や出演者など当該事業への参加者による満足度等だけではなく、事業自体の質的な評価についても、測定は容易ではありませんが、留意が必要です。

【参考事業】

事業名	単位	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
31.素のままフェスタ（再掲）	参加者及び来場者数	中止	876 人	397 人
32.高校生ダンスフェスタ	出演者数	中止	中止	484 人
	来場者数			961 人

4. 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

(2) 音楽以外の基軸の確立

音楽あふれるまちづくりに加えて基軸となる施策の推進に向け取組みを進めます。

指標 1. 音楽以外の文化芸術分野における事業数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
60.0%	10 事業	6 事業	8 事業	8 事業

指標 1 の事業名称

事業名
33.市所蔵作品展
34.市民ギャラリー特別企画展
16.市文化芸術祭（再掲）（中止）
17.市美術展（再掲）
19.大阪大学総合学術博物館企画展（再掲）
20.伝統芸能館まつり（再掲）（中止）
30.きむらとしろうじんじん野点（再掲）
9.教育美術展（再掲）（中止）
40.ART ROOMS TOYONAKA

指標 2. 該当事業の満足度（上記事業のうちアンケートをとれる事業のみ）

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)
88.7%	95.0%	84.3%	85.2%

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値
33.市所蔵作品展	95.0%	84.3%	81.6%
34.市民ギャラリー特別企画展	95.0%	90.9%	90.9%
16.市文化芸術祭（再掲）	95.0%	中止	91.7%
17.市美術展（再掲）	95.0%	78.3%	76.8%

【備考】

- 市文化芸術祭、伝統芸能館まつり、教育美術展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。
- 市所蔵作品展については、令和2年度は「田中健三 アートとデザインの軌跡」を実施しました。
- 市民ギャラリー企画展について、令和2年度は「残像のスケッチ」と題し、現代美術作家・宙宙さんによるインスタレーションの展示を行いました。

【文化芸術振興審議会の意見】

- 市所蔵作品展や市民ギャラリー企画展では、大学や小学校などと連携して市民とともに実施するという大切な視点での取組みがユニークで、美術分野の展開で今後も取り組んでいただきたいと思います。
- 美術に触れる機会があまりない子どもでも、ワークショップを通じてアートに接近しやすくなるものと思います。
- 「ART ROOMS TOYONAKA」で行っているように、音楽以外の文化芸術の確立を引き続きめざしていただきたいと思います。既述の現代社会との応答には、音楽だけでなく、言葉を使う文化・芸術とのバランスが必要と思われます。

【参考事業】

■市民ホール指定管理者 音楽以外の鑑賞事業一覧（市の共催ではないもの）

事業名	来場者数
桂米朝一門会	209人
With Love From Malakhov ～マラーホフより愛をこめて～	2021年に公演延期
ローズ文化ホール 庄内体育館コラボフェスティバル	中止
神田松之丞改メ神田伯山独演会	1,287人
SHIROCO フラメンコ公演	中止
春風亭一之輔独演会	597人
コトノハ ものがたりの世界 2021	中止
とよキネマ「あん」	中止
とよキネマ「愛の調べ」	中止
とよキネマ「家へかえろう」	中止
とよキネマ「引っ越し大名」	中止
とよキネマ「この世界の片隅に」	49人
とよキネマ「家族」	372人
とよキネマ（10月）	中止
とよキネマ「グリーンブック」	252人

とよキネマ (12月)	中止
とよキネマ (1月)	中止
とよキネマ (2月)	中止
とよキネマ (3月)	中止
総計	2,766人

5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実

(1) 美術・博物・文化財等の分野における地域資源の活用・発信の充実

市が所蔵する美術品をはじめ、教育分野と連携した博物資料・文化財の企画展等により、地域資源の活用と発信の充実を図ります。

指標 1. 市所蔵美術品を活用した事業の来場者数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
9.3%	5,000 人	464 人	1,808 人	4,853 人

指標 1 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
33.市所蔵作品展	5,000 人	464 人	1,808 人	4,853 人

指標 2. 文化財の保護、活用及び啓発

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
30%	100 回	30 回	106 回	89 回

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
35.博物資料・文化財などを活用した事業	90 回	24 回	91 回	81 回
36.子ども文化財教室等の講座・学習事業	10 回	6 回	15 回	8 回

【備考】

○新型コロナウイルスの感染拡大により、市所蔵作品展の来場者数や文化財保護・活用及び啓発事業の開催回数が大きく減少しています。

【文化芸術振興審議会の意見】

○成果は挙げられていますが、地域資源をただ活用するということだけではなく、その地域資源についての深い研究や知識があって初めて現代に再生できると思

われます。これもまた、大学などとの連携をうまく活用すべきだと思います。
 ○国の方向性としても、文化財の保存ばかりにとどまることのない活用に期待が寄せられています。今後も幅広い活用を工夫いただきたいと思います。

【参考事業】

事業名	単位	R2年度 実績値	R1年度 実績値	H30年度 実績値
37.市所蔵作品の活用点数	活用点数	24点	78点	95点
38.登録文化財	件数	累計 40件	累計 40件	累計 41件
39.指定文化財	件数	累計 87件	累計 87件	累計 86件

5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実

(2) 地域の課題に応じた取組みの推進

市内各地域の課題等に応じた文化芸術振興の取組みを進めます。

指標 1. 地域の課題に応じた文化芸術分野の事業件数

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
75.0%	4 事業	3 事業	2 事業	2 事業

指標 1 の事業名称

事業名
22.世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭
6.豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールでオーケストラ♪
40.ART ROOMS TOYONAKA

指標 2. 該当事業の満足度（上記事業のうちアンケートをとれる事業のみ）

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)
101.6%	95.0%	96.5%	91.5%

指標 2 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値
22.世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭（再掲）	95.0%	100%	—
6.豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールでオーケストラ♪（再掲）	95.0%	93.0%	93.0%

【文化芸術振興審議会の意見】

- 地域課題の解決に関わる音楽事業は興味深く、そのノウハウを地域で小規模に活動している事業者も知ることができるとよいと思います。
- 総合計画のリーディングプロジェクトに位置付けられる市南部での事業展開を

はじめ、地域の課題に応じた取組みの推進に期待します。

- 豊中の地域課題が何か、明確にして取り組むべきかと思われます。市南部が課題化されているのは理解できますが、どうなればよいのか、単に開発型の成果が求められているのではないはずです。内容の検討も合わせて行うとか、その段階から取組み化するなどの工夫が必要かと思ひます。

5. 地域資源の活用・発信等と文化芸術活動に係る環境の充実

(3) 文化芸術活動に係る環境の充実

文化施設の設備更新等の文化芸術活動に係る環境の充実を図ります。

指標 1. 市民ホールの設備満足度

達成率	目標値 (R2 年度)	実績値 (R2 年度)	実績値 (R1 年度)	実績値 (H30 年度)
102.3%	80.0%	81.8%	80.2%	77.5%

指標 1 の事業名称

事業名	目標値 (R2 年度)	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値
市民ホール指定管理者施設利用アンケート	80%	81.8%	80.2%	77.5%

【備考】

○アンケートのうち、ホール内設備の項目について、「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」のうち、「満足」と「やや満足」の回答の集計の比率。文化芸術センターが 85.0%、ローズ文化ホールが 78.5%で、平均値を実績値としています。

【文化芸術振興審議会の意見】

- 令和元年度は文化芸術センター小ホールの座席に手すりを設置されたとのこと。全ての方が安心して施設を利用できるように改修していくことは大切ですね。
- 限られた予算の中で、計画どおりに改修していくことは難しいと思いますが、安心・安全の部分は確実に行っていただきたいと思います。

【参考事業】

各施設の利用状況等

施設名	来場者数			利用率			実施主体
	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値	R2 年度 実績値	R1 年度 実績値	H30 年度 実績値	
文化芸術センター	133,119 人	478,794 人	484,907 人	62.8%	87.5%	90.3%	市民ホール 指定管理者
ローズ文化ホール	13,565 人	38,258 人	45,898 人	55.8%	78.7%	79.8%	市民ホール 指定管理者
伝統芸能館	2,939 人	10,054 人	10,466 人	51.7%	81.7%	85.3%	文化芸術課
市民ギャラリー	6472 人	21,585 人	26,098 人	54.2%	93.6%	98.0%	文化芸術課

事業内容（掲載順）

1 サポートクルー養成講座（市民ホール指定管理者）	P6
フロントスタッフとして活躍するボランティアを養成する講座を開催。講座終了後には自主事業でチケットもぎりや会場案内などを行っています。	
2 とよなかアーツワゴンの活動（市民ホール指定管理者）	P6
公募アーティストが、アートマネジメントやアウトリーチなど2年間の研修を受け、その後、アーティストバンクに登録して地域活動を行う人材育成制度。	
3 音楽コンクール（文化芸術課）	P8.9.13.14.18.19
次代を担う人材の発掘と育成をめざして大阪音楽大学と協力して実施。受賞者は記念コンサートにも出演します。	
4 こども音楽フェスティバル（文化芸術課・学校教育課）	P8.9.13.14.18.19
大阪音楽大学との共催事業で、市内で活躍する中学・高校生の吹奏楽部が出演するなど、子どもたちが主役の演奏会。	
5 こどもクラシックの日（市民ホール指定管理者）	P8.9.13.14
市民ホール全館を使用した事業で、演奏体験や作曲体験など、子どもたちが楽しみながら音楽に触れることができます。	
6 豊中市中学生舞台芸術体験事業 ホールでオーケストラ♪(文化芸術課)	P8.9.18.19.23.30
私立を含む市内すべての中学校を対象とし、ホールでの本物のオーケストラ鑑賞の体験によって豊かな感性・創造性を育む事業。	
7 小学校アウトリーチ事業（市民ホール指定管理者）	P8.9.23
プロのアーティストが直接学校に出向き、子どもたちが文化芸術への関心を高められるよう、生演奏の披露や参加型ワークショップなどを行う事業。	
8 サウンドスクール(学校教育課・こども事業課)	P8.13.18
子どもたちが音楽のすばらしさに触れる機会を充実させるとともに、豊かな人間性を育むことを目的に、大阪音楽大学との連携により実施。同大学の学生等が演奏や指導を行います。	
9 教育美術展（学校教育課）	P8.25
全市立中学校が参加する事業で、学びの成果を発表することを目的に、生徒たちが美術の授業や部活動等で制作した美術作品等を展示します。	
10 高校生軽音楽フェスティバル(魅力創造課)	P8.9.18.19
服部緑地野外音楽堂で、市内の高校軽音楽部が参加する一大イベント。成果の発表の場になるとともに、高校生たちのコミュニティ形成の場となっています。	
11 サマープラスフェスティバル(学校教育課)	P10
サウンドスクール事業で大阪音楽大学より指導支援を受けた市立中学校吹奏楽部が、成果を発表する演奏会。	
12 小学校連合音楽会・中学校音楽研究演奏会(学校教育課)	P10
児童・生徒らが合唱や器楽合奏、吹奏楽等の演奏を行うとともに、相互に鑑賞し、音楽と触れ合う事業。範囲	

13 文化芸術活動報奨金制度（文化芸術課）	P11
市民の自主的な文化芸術活動を顕彰することで一層の文化芸術振興を図ることを目的に、全国大会等に参加するなど顕著な成果を収めた個人や団体に報奨金を支給する制度。	
14 文化芸術振興助成金制度（文化芸術課）	P11.23
市内で行われる文化芸術事業を支援するため、子どもが文化芸術に親しむ機会の充実を図る事業や、文化芸術の力を活かして地域課題の解決をめざす事業に対して助成を行います。	
15 文化芸術振興基金（文化芸術課）	P12.15
継続的かつ安定的に、文化芸術の振興に向けた取組を推進するために平成30年1月に設置。広く寄附を募るとともに、人材育成や地域課題の解決に資する事業に活用します。	
16 市文化芸術祭（文化芸術課）	P13.14.18.19.25
文化芸術活動の発表や鑑賞機会の充実を図るとともに、参加者同士の交流を深めるため、市文化芸術連盟との共催で開催。	
17 市美術展（文化芸術課）	P13.14.25
市美術協会と実行委員会を組織して開催。美術作品を公募し、制作の励みとなる審査を通過した優れた作品の展示を通じて、芸術作品の創造と鑑賞の機会を創出します。	
18 豊中まちなかクラシック（文化芸術課）	P13.14.18.19.20
日本センチュリー交響楽団との共催により、市内の寺院や教会などの歴史的建造物を会場に、多彩なアンサンブルをまちなかで楽しむクラシックコンサート。	
19 大阪大学総合学術博物館企画展（文化芸術課）	P13.25
大阪大学総合学術博物館との共催事業で、毎年、ロボットや科学、美術などテーマを変えながら、展示やシンポジウム、ワークショップなどを行っています。	
20 伝統芸能館まつり（文化芸術課）	P13.25
郷土芸能や和太鼓、日本舞踊など、伝統芸能館を拠点に活動する10団体が多彩な演目を披露。身近に伝統芸能に触れることができる機会を創出します。	
21 世界の楽器と音楽（文化芸術課）	P13.14
大阪音楽大学との連携による、日本の伝統楽器や世界の楽器の演奏と解説。箏や三味線の他、インドの古典音楽・シタール演奏など、毎年異なる楽器が楽しめます。	
22 世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭（文化芸術課）	P13.14.18.19.23.30
日本センチュリー交響楽団、大阪音楽大学、しょうない REK との連携事業。音楽ワークショップを重ねた後、音楽祭では皆で制作した作品の演奏を披露します。	
23 就航都市文化交流事業（空港課・文化芸術課）	P16
大阪国際空港と就航路線でつながっている空港の所在都市との文化交流事業。	
24 豊中まつり（文化芸術課）	P16.20
豊島公園を会場に、人と文化がふれあうまつりをテーマに、市民がつくる市民のまつり。毎年約15万人もの人が訪れ、1,000人以上のボランティアがまつりを盛り立てます。	
25 兄弟都市・沖縄市交流（魅力創造課）	P17
昭和49年11月に兄弟都市となり、その後、豊中まつりをはじめ、沖縄市で行われる音楽イベントや産業まつりなどで交流を図っています。	

26 姉妹都市・サンマテオ市交流（魅力創造課）	P17
昭和 38 年に姉妹都市提携を結び、以降、市が主催する英語弁論大会の上位入賞者を派遣するなど、交流を続けています。	
27 セイジ・オザワ松本フェスティバル・スクリーンコンサート（文化芸術課）	P16.18.19
世界的指揮者・小澤征爾さんが総監督を務める音楽フェスティバルの生中継コンサート。開催地は、長野県松本市と交流のある都市だけで、府内では豊中市のみで開催。	
28 邦楽鑑賞会（文化芸術課）	P18.19
広く市民に邦楽の素晴らしさに触れてもらうことを目的に開催するもので、地域の小学校とも連携し、子どもたちが箏演奏を披露することもあります。	
29 豊中市民第九演奏会（文化芸術課・市民ホール指定管理者）	P18.19
指定管理者が市との共催で実施。市民合唱団が、大阪音楽大学教員のソリストとともに日本センチュリー交響楽団と共演。	
30 きむらとしろうじんじん野点（のだて）（魅力創造課）	P23.25
美術家・きむらとしろうじんじんさんが、リヤカーに陶芸道具一式と、抹茶セット一式を積み、まちのさまざまな場所で参加者が茶碗を制作する陶芸屋台。自分で焼いた茶碗で野点を楽しむことができます。	
31 素のままフェスタ（障害福祉課）	P24
障害者の社会参加の領域を広げ、深めるため、障害のある人たちの表現活動をサポートする事業で、和太鼓やダンス等が披露されます。	
32 高校生ダンスフェスタ（青年の家いぶき）	P24
出演のみならず、高校生たちが企画や運営なども行う事業。制作過程で関わり合う中で、自身の成長につながります。	
33 市所蔵作品展（文化芸術課）	P25.28
市の所蔵作品を活用して、展示やワークショップを行う事業。	
34 市民ギャラリー特別企画展（文化芸術課）	P25
さまざまなテーマで、絵画や写真等の作品展示やワークショップを行ないます。	
35 博物資料・文化財などを活用した事業（社会教育課）	P28
博物資料・文化財の展示をはじめ、市内の各学校や施設と連携して実施する出前講座や、史跡散策、原田城跡・旧羽室家住宅の公開などを行っています。	
36 子ども文化財教室等の講座・学習事業（社会教育課）	P28
子ども文化財教室には、市内で出土した旧石器時代から江戸時代までの資料約 150 点を展示しており、各種講座や学習事業等も開催しています。	
37 市所蔵作品の活用点数（文化芸術課）	P29
市所蔵作品展の他、他事業での活用、市の施設での展示等を行い、有効活用を図っています。	
38 登録文化財（社会教育課）	P29
大阪大学の共通教育本館・待兼山修学館（待兼山町）、旧羽室家住宅（曾根西町）、奥野家住宅（中桜塚）などが登録されています。	

39 指定文化財（社会教育課）**P29**

国指定の原田神社本殿、府指定の旧新田小学校校舎、市指定の伊藤若冲筆「山水図」等があります。

40 ART ROOMS TOYONAKA**P23.25.30**

豊中市が初めて手掛けるアートの祭典。庄内のまちをめぐりながら、楽しくアートに触れることができます。